

第一回 現地活動報告(日程 2011.3.15-17)

株式会社 危機管理教育研究所

【活動の目的】

- 1.岩手県大船渡の社会福祉協議会様宛に物資の配送
 - ◎災害用トイレパック3000セット
 - ◎防災用品 およそ1000個(サバイバルブランケット、笛、レインポンチョ、カラビナ付きボトル懐中電灯のセット)
 - ◎非常食(パンの缶詰、野菜ジュース、ヤクルト、アロエゼリー飲料)
 - ◎ウエットティッシュ200個
 - ◎軍手 30 個
 - ◎子供用ヘルメット
 - ◎その他 (マスク、ティッシュボックス、など)
- 2.被害地調査ならびに今後の支援物資、ボランティアのニーズについての打合わせ

【当日のスケジュール】

3月15日 20:00 出発

首都高⇒常磐道⇒東北道⇒水沢 IC 下車⇒岩手県入り 04:21

3月16日大船渡市到着 07:00 大船渡 YS センター到着 07:30

大船渡社会福祉協議会様への物資の受け渡し

大船渡市役所 生活福祉部 の課長と今後の支援についての話し合い

大船渡市の被害調査

陸前高田市入り 11:00

陸前高田市内の避難所(米崎小学校)にて物資の受け渡し

避難所運営者との今後の支援についての話し合い

陸前高田市出発 13:00

水沢 IC⇒東北道⇒常磐道⇒首都高⇒到着 01:00

3月17日 02:00 解散

【話し合いの概要】

《大船渡市 生活福祉部》

1. 食糧については、おにぎり、パン、お茶は入ってくるが、缶詰（サバの味噌煮など）やレトルトが欲しい 各地から支援の申し出が続々入っている。学校の給食施設を使って炊き出しも始まっている。
2. 一つの避難所に、様々な立場、高齢者、子ども、障がい者が暮らしているのでそれぞれへのメンタル面でのサポートが必要との認識から市では医療班を編成し、医師との連携とのもに対応している。
3. 電気は一部のみ回復しているが、津波の被害があったところはまだ電話も使えない。市役所では昨日の時点で電気は通じておらず、パソコンも使用できない状況。情報はラジオのみ。新聞も各避難所に数部。避難所の人数に関わらず数部なので、読み回しが大変な避難所もある。
4. 現在もなお、住民の安否確認が行われており、全容が把握できていない。安否確認に手間取っている。
5. 現在ご遺体はお寺に預かってもらっているが、どこか一か所に收容しなくてはならない。しかし、大船渡市は平地が少ないのでどこに設置するか、場所の問題がある。
6. 市民体育館が津波被害に遭った。そこが被害を受けていなければ、物資の受け入れも一か所にできた。現在は物資も分散して配置している。
7. 物資で不足しているのは生理用品、肌着（下着）トイレ
現在はトイレはバケツの水で流して使用している。
8. これからの問題は、仮設住宅と、お風呂の問題
9. 市役所の建物の被害は特になかった。揺れは長く、これまでに感じたことのない揺れだったが、窓ガラスが割れるなどの直接の被害はなかった。
10. 一番欲しいボランティアは、介護のボランティア
施設のスタッフが足りない。まだだれも来てくれていない。

11. ボランティアの受け入れについて

社会福祉協議会の職員が受け付け対応をしている。これから具体的な受け入れを考えていく。受入れのノウハウを持った人に后方支援をしていただけると助かる。どこにだれを配置するかが問題。

個人ではなく、チームで来てもらえると助かる。特に必要なのは医療チーム。仕分け、力仕事をしてくれるチーム。活動に慣れている人にきてほしい。活動の中で、ご自身の食や排せつなど自立した準備をしてくれる方を求む。

12. 大船渡市は、神奈川県相模原市と姉妹提携都市で、相模原市からの支援が入っている。医療チームは相模原市などから入ってきている。

13. 携帯は使用できない。NTT ドコモが工事をしてきている。

《陸前高田市 米崎小学校 避難所》

※陸前高田市では発災後3日目に1300人の消息が突然にわかった。それまで被災者は飲まず食わずの状況であった。陸前高田市では平地が多く、奥まで続いていたので被害も大きかった。役所の職員も三分の一が亡くなった。

1. 避難所では、男女別、年齢別の避難者の集計はまだできていない状況
現在280人が避難している。食事が足りないことに配慮して自宅に戻った家族がいた。切ない。今も自宅で苦勞しているに違いない。
2. 携帯電話は通じないが、NTT の衛星電話が入った。照明の非常電源を使用した。
その不便も比にならないほど、家族とつながったことは大きな出来事だった。
この避難所に1人と思ってさみしい思いをしていた方の心が救われた。
3. 米崎中学校が遺体安置所になっている。ご遺体が検案のために裸になり、その後にかける浴衣（白い着物）がなくて忍びない。ぜひ支援をしてほしい。
4. 物資は十分に届いていない。至急物資の支援をお願いしたい。

[支援のニーズ]

- ・仮設トイレ3機
- ・のこぎり スコップ
- ・ご遺体に着せる白い着物(なければ代用品でもお願いします)
- ・自転車
- ・寝袋
- ・トイレトペーパー
- ・毛布
- ・衣類(女性、男性、子ども)特に肌着が必要。新品を求む。
- ・ズボン(女性も男性もズボンが一つしかなく、替えがない)
- ・生理用品
- ・靴 (長靴、スニーカーなど)
- ・靴下
- ・バスタオル、タオル(新品)
- ・紙おむつ(成人用、子ども用)
- ・お尻ふき

[被災地の写真] ※断りなく転載・複製を禁じます。

① 大船渡社会福祉協議会事務局が入っている福祉の里 YSセンター



② 大船渡市役所



③ 大船渡市内



④ 陸前高田市 米崎小学校

校舎の前でトイレトペーパー、食料などを限定販売していた。



住民は体育館に避難している

